様式第　６　号（荷主用）

令和　　年　　月　　日

鹿島港振興協会会長　殿

申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒

住　　　　　　所

名　　　　　　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

担当者

連絡先

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（e-mail：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

鹿島港コンテナ貨物集荷促進事業助成金実績報告書

令和　　年　　月　　日付けで交付決定のあった鹿島港コンテナ貨物集荷促進事業の第　　四半期の実績について､助成要項第７条の規定により報告します。

１　実績額　　　　　　金　　　　　　　　　　　　　　円

２　事業実績（　　月～　　月）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 輸出（本） | 輸入（本） | 計A（本） | 単価B | 金額（A×B） |
| 新規利用 | 1. 新規利用（加算なし）
 |  |  |  | 10,000円 |  |
| 1. 国際ﾌｨｰﾀﾞｰ利用加算
 |  |  |  | 12,000円 |  |
| 1. 最寄港利用加算
 |  |  |  | 15,000円 |  |
| 1. 国際ﾌｨｰﾀﾞｰ最寄港利用加算
 |  |  |  | 17,000円 |  |
| 1. 県外貨物加算
 |  |  |  | 20,000円 |  |
| 1. 国際ﾌｨｰﾀﾞｰ県外貨物加算
 |  |  |  | 22,000円 |  |
| 継続利用 | 1. 継続利用（加算なし）
 |  |  |  | 5,000円 |  |
| 1. 国際ﾌｨｰﾀﾞｰ利用加算
 |  |  |  | 6,000円 |  |
| 1. 県外貨物加算
 |  |  |  | 10,000円 |  |
| 1. 国際ﾌｨｰﾀﾞｰ県外貨物加算
 |  |  |  | 11,000円 |  |
| 1. 大口荷主加算
 |  |  |  | 500,000円 |  |
| 1. 大口荷主
 |  |  |  | 500,000円 |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

　　注）　対象期間の船荷証券を添付願います。

様式第　８　号（荷主用）

令和４年度鹿島港コンテナ貨物集荷促進事業　実績報告内訳書（第　　　四半期）

１　前年度実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 輸出入の　別 | 利用ルート仕出向港又は最終仕出向港 | 利用コンテナ航路 | コンテナ数量（本）※注4参照 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

2　本年度実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 輸出入の　別 | 利用ルート仕出向港又は最終仕出向港（搬出入場所所在地） | 利用コンテナ航路 | コンテナ数量（本）※注4参照 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

3　助成金実績額

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成区分 | 輸出入の　別 | 利用ルート仕出向港又は最終仕出向港 | 前年度実績A（本） | 本年度実績B(本） | ｺﾝﾃﾅ数量B-A（本） | 実績額C | 受領済金額D | 大口荷主・大口荷主加算額※注５参照 | 今回請求金額 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

注）

1　輸出入の別は､輸出の場合は「出」､輸入の場合は「入」と記載願います。

2　利用ルートは､最初に船積みした港湾名及び最終の陸揚げされる港湾名を記載願います。

３　助成区分は､様式第６号「2」表中の助成区分に従い①～⑫のいずれかを記載願います。

４　前年度利用実績がある場合は､前年度利用実績数量を12で除した数量を1ヶ月分とし､3倍した数値を四半期の数量とします。（小数点以下の端数は切り捨て。）

５　大口荷主または大口荷主加算（200本以上利用）は左記数量に達した四半期に計上願います。

6　実績額(C)は､新規利用・継続利用・国際フィーダー利用加算・県外貨物加算・最寄港加算・大口荷主・大口荷主加算の単価により算出し､年間１ルート150万円を超える場合は､150万円とします。

7　実績額(C)の合計額が300万円を超える場合は､300万円を超えた金額を切り捨てとします。

8　第2四半期分以降の実績報告では､既に同ルートで助成金を受領している場合は､受領済金額(D)を

記載願います。

9 今回請求金額は､実績額(C)を記載願います。ただし､実績額と受領済金額の合計が150万円を超え

る場合は､受領済金額と150万円との差額を記載願います。